学校番号	2004

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報リテラシー	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	「ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー」（実教出版株式会社）						
副教材等	大学入学共通テスト対策情報Ｉ徹底演習　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題集による演習を中心に、情報Ｉの内容を深めていきます。1 年次に学習した情報Ｉの学習を発展させた内容であるため、情報Ｉを履修している 3 年次での履修を基本としています。office ソフトやプログラミングなどの情報知識は現代社会に必要不可欠です。実社会に出て必要な情報技術を学習し、高校生のうちに ICT リテラシーを高めましょう。

2　学習の到達目標

(1) 共通テストに出題されるような教科情報に関する全般的な知識を身に着けている。
(2) 情報リテラシーに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 自ら学びコンピュータの役割や影響に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	共通テストに出題されるような教科情報に関する全般的な知識を身に付けている。また、コンピュータを問題の発見と解決に効果的に活用するための知識と技能を身に付け、情報社会におけるコンピュータの役割や影響を理解している。	情報社会におけるコンピュータの役割や影響に及び身のまわりの問題を解決する為にコンピュータを活用することについて、科学的な考え方を生かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報社会におけるコンピュータの役割や影響に関心を持ち、コンピュータを活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会、情報デザイン、デジタル	・情報社会 ・情報デザイン ・ハードウェア	a: 情報社会における役割、課題解決に必要なハードウェアの組み合わせと情報システムの関係を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b: 情報デザインにおける形態や色彩の特性について理解するとともに、それらを活用するための技術を身に付けている。 c: ハードウェアについて自ら学び、課題解決に必要なハードウェアの組み合わせのシステム的な提案や保守及び情報セキュリティ対策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	単元テスト 制作実習	単元まとめレポート 制作実習	授業ふりかえり
	ネットワーク、問題解決、プログラミング	・オペレーティングシステムの仕組み ・応用ソフトウェアの仕組み ・ソフトウェアによる情報セキュリティ技術 ・情報システムを構成するソフトウェア	a: 基本ソフトウェアの操作や設定の概念、情報システムと各種ソフトウェアの関係を理解するとともに、これらを最大限活用できる環境の構築と設定を行う技術を身に付けている。 b: ソフトウェアの操作や設定に関する課題を発見し、ソフトウェアの活用を通じて情報セキュリティを確保した上で創造的に解決できる。 c: ソフトウェアの操作や設定について自ら学び、ソフトウェアの選択や活用とそのための環境設定及び情報セキュリティ対策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	単元テスト 制作実習	単元まとめレポート 制作実習	授業ふりかえり
後期	分野別演習、パターン別演習、ファイルの制作実習	・情報社会を支える情報リテラシーと情報システム ・これからの情報社会と情報リテラシー	a: 情報リテラシーや情報システムの目的と機能及び社会との関わりについて理解するとともに、情報社会を支える情報技術を身に付けている。 b: 情報社会の中で使われている各種の技術やシステムに関する課題を発見し、情報リテラシーの活用を通じて合理的かつ創造的に解決できる。 c: 情報リテラシーについて自ら学び、技術の利用、開発及び管理などに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	ｲﾍﾞﾝﾄの企画と実施	ｲﾍﾞﾝﾄの企画と実施 単元まとめレポート	ｲﾍﾞﾝﾄの企画と実施 授業ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度